

## 新潟大学公開森林実習「野外調査における安全管理」

標準履修年次：2・3年（1年生・4年生も受講可能です）

担当教員：崎尾均・本間航介・阿部晴恵

実施時期：2011年8月26日（金）～8月29日（月）

集合時刻：2011年8月26日（金）12：40

（新潟港9時25分発カーフェリーまたは11時30分発ジェットfoil）

集合場所：両津港佐渡汽船ターミナル改札出口

実施場所：新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション

住所：〒952-2206 新潟県佐渡市小田94-2

TEL：0259-78-2613 FAX：0259-78-2929

Email：homma@agr.niigata-u.ac.jp（本間航介）

アクセス方法：新潟駅万代口からバスまたはタクシーにて新潟港佐渡汽船ターミナルへ（バス15分、タクシー10分）、新潟港から佐渡汽船カーフェリーで2時間30分、またはジェットfoilで1時間。新潟港から車にて1時間30分（実習生は両津港から送迎します）。

地図：<http://www.agr.niigata-u.ac.jp/access/index.html>

<http://www.agr.niigata-u.ac.jp/fc/>

対象学生：森林科学または生態学などを専攻する学部学生で、特にフィールド調査を頻繁に行うことを予定している者を対象とする。主として2・3年次生対象。

定員：20名（定員超過の場合、予備日に第二回目を開講する）

実習課題：近年、野外調査中の深刻な事故が多発しており、安全管理は森林科学者にとって重要な問題になっています。野外でフィールドワークを安全かつ確実に行うためには、その基礎として、山野での行動技術や危機回避技術を持つことが必須となります。本実習では、天気予測、読図法、救急救命法、木登り調査法、幕営法、ロープワークなど野外調査を遂行するために必要な基礎技術を取得し、困難な調査を安全に行うための能力を身につけることを目標とします。佐渡島の豊かな自然環境を楽しみながら、野外で安全に調査することの重要性を学んでください。

\*：本実習は、日本生態学会安全管理委員会の安全管理マニュアルに準拠しています。

実習内容：

### <第一日>

両津港集合、新潟大学フィールド科学教育研究センター（佐渡ST）に移動

講義「野外調査における安全管理概論」

実習「救急救命法（蘇生法・止血法・固定法・運搬法）」

### <第二日>

講義「地図の読み方」、「天気図の読み方」

実習「森林踏査・植生調査とルートファインディング」

### <第三日>

実習「ロープワーク」、「木登り調査法」、「観天望気」、「野外露営（キャンプ技術）」

### <第四日>

両津港にて解散

\*実習終了後、レポート提出を求めます。

参加費用：宿泊費無料。食費・雑費（リネン代ほか）の実費合計12000円

8月26日に新潟大学佐渡ステーション到着後に集金します。

別途交通費 新潟港-両津港往復（二等）4640円がかかります。

持ち物：長袖・長ズボン（ジーンズ不可）・雨具・帽子・長靴・軍手・着替え類・筆記用具・リュックサック・タオルと洗面用具・腕時計・水筒、持病薬・割り箸（以下は持っている人のみ）  
寝袋・ヘッドランプ・コンパス・双眼鏡・登山用食器類

注意事項：山の中での行動が多くなるため、体調管理には十分に注意すること。持病（アレルギー・肝炎など）があり、虫刺され時やケガによる出血時に特別な対処が必要な者は担当教官に事前に申告すること。また、各大学で取り扱っている学生教育研究災害傷害保険（学研災）・学研災付帯償責任保険（学研賠）、または、大学生協が扱っている学生総合共済・学生賠償責任保険に必ず加入しておくこと。

申し込み：履修希望学生は、以下の情報を記入したEメールを以下のアドレスに送信して下さい。

Email：[homma@agr.niigata-u.ac.jp](mailto:homma@agr.niigata-u.ac.jp)（本間航介）

1. 「新潟大学公開森林実習「野外調査における安全管理」受講希望」と記入
2. 所属大学・学年・氏名・性別 緊急時連絡先を記入
3. 学研災・学研賠、または、学生総合共済・学生賠償責任保険の加入していることを受講の条件としますので、加入している保険の種類を明記して下さい。
4. アレルギー・既往症など、フィールドにおいて注意すべき疾病がある場合は事前にご相談下さい。

キャンセルポリシー

実習開始日直前（3日前以降）の聴講取り消しについては、食費など事前の準備に要した実費（3000円程度）を請求します。